

# 刈谷田川・五十嵐川・信濃川下流における 上下流一貫した緊急治水対策の推進

～H16.7 新潟・福島豪雨への対応～

新潟県加茂市、三条市 他

## 1. 事業の概要

平成16年7月12日～13日の梅雨前線豪雨（新潟・福島豪雨）により、信濃川下流の支川刈谷田川(県管理河川)、五十嵐川(県管理河川)では全半壊を含む床上床下浸水約1万棟、浸水面積約2,500haにおよぶ甚大な被害を受けました。

この災害に対し、国、県が連携して上下流一貫した緊急治水対策として、平成16年度より直接被害のあった刈谷田川、五十嵐川においては「河川災害復旧助成事業（県）」が、また、同助成事業により流量増となる下流側の刈谷田川下流部（県）及び信濃川下流(国)においては、その受け皿確保として「河川災害復旧等関連緊急事業」を、それぞれ実施しています。

この事業の実施により、今回被害の大きかった三条市、見附市、長岡市（旧中之島町）はもとより新潟市をはじめとする信濃川下流域全体の治水安全度を向上させます。

なお、事業にあたっては、CM業務の活用により円滑な工程管理を図るとともに、発生土砂の有効活用等によりコスト縮減を図りながら事業を推進し、平成20年度の完了を目指します。

## 2. 事業の経緯

### 【直轄】

- 平成15年度 信濃川下流の「緊急対策特定区間」として、約16kmの重点的堤防整備に着手
- 平成16年度 新潟・福島豪雨出水により、上記の緊急対策特定区間を含む約34kmの区間を、信濃川下流「河川災害復旧等関連緊急事業」として事業採択、事業着手

### 【補助】

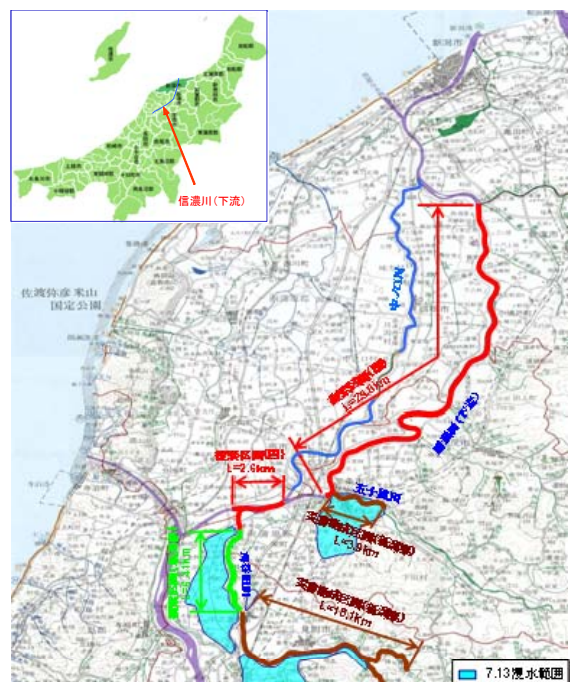
- 平成16年度 新潟・福島豪雨出水により刈谷田川、五十嵐川で「災害復旧助成事業」及び刈谷田川で「河川災害復旧等関連緊急事業」が事業採択、事業着手

## 3. 平成18年度補正予算の内容

事業効果の早期発現を目指し、堤防等の整備を推進します。



新潟市上八枚地先の築堤現場（H18.10月）



# 信濃川水系芋川における直轄砂防事業の推進

～ 芋川流域の地域復興支援 ～  
信濃川水系芋川(新潟県 長岡市 山古志)

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

信濃川水系魚野川右支川の芋川は、平成16年10月に発生した新潟県中越地震により、流域内で多数の山腹崩壊や地すべりが発生しました。それに伴い、多くの河道閉塞が発生し、東竹沢地区や寺野地区など、特に被害の大きい11地区については直轄災害関連緊急事業により緊急的に整備を進め、平成18年度中に完成します。今後は、砂防事業により、集落再生地域や県道をはじめとする主要生活道路等の保全を行うとともに、農地復旧にかかる支援を行い、安全で安心な地域の復興を支援します。

特に寺野地区では、中越地震により被災した地域の生活基盤道路（主要地方道栃尾山古志線：県）の平成19年度整備完了を目指しており同地区の荒廃の著しい崩壊斜面对策を道路整備と一体的に整備する必要があるため、ゼロ国債により早期着手・完成を目指します。

## 2. 事業の経緯

- 平成16年10月23日 「新潟県中越地震」により大規模な河道閉塞が発生
- 平成16年11月5日 「寺野地区」「東竹沢地区」直轄砂防災害関連緊急事業で実施決定
- 平成18年度 直轄砂防災害関連緊急事業対応箇所完成
- 平成19年度以降 芋川流域の帰村にかかる地域復興支援として土砂災害対策推進

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

中越地震により崩落した斜面の安定化を図るため、法枠工等河道閉塞箇所周辺の法面对策を推進します。



＜生活基盤道路と一体的な整備を推進する寺野地区＞



※法面对策:3,000m<sup>2</sup>

# 福島潟河川改修事業（大規模）の促進

## 新潟県新発田市

### 1. 事業の概要

阿賀野川水系新井郷川（福島潟）は、平成10年8月4日の梅雨前線豪雨により越水し、旧豊栄市の市街地において床上浸水191戸、床下浸水985戸の甚大な被害が発生するとともに、上流の支川では破堤、溢水による被害が発生したことから、早期に浸水被害を解消することが急務となっています。

このため、平成10年度から上流の支川および下流部の河道改修に着手し、平成15年3月には福島潟放水路が通水しました。さらに、福島潟については、平成15年度から広域基幹河川改修事業（大規模）により築堤（湖岸堤）、承水路掘削等を実施していますが、今回の補正予算投入により、平成19年出水期までに承水路区間を概成し、早期に浸水被害の軽減を図ります。

### 2. 事業の経緯

- 平成10～13年度 河川災害復旧等関連緊急事業（福島潟放水路）
- 平成10～14年度 河川激甚災害対策特別緊急事業（福島潟放水路）
- 平成10～14年度 災害復旧助成事業（折居川、荒川川）
- 平成15年度～ 広域基幹河川改修事業【大規模】（福島潟）

### 3. 平成18年度補正予算の内容

平成10年8月の床上浸水解消に向けて、築堤（湖岸堤）、承水路掘削等を推進します。



平成10年8月豪雨 浸水状況（旧豊栄市街地）



# 関川水系矢代川砂防えん堤の早期完成（補助：砂防）

## 新潟県妙高市菅沼

### 1. 事業の概要

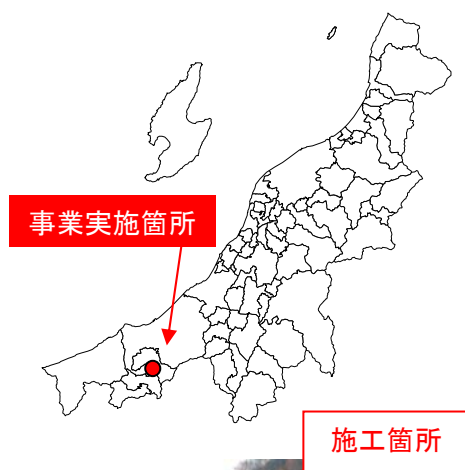
この事業は新潟県妙高市の関川水系矢代川において、下流部の人家や保育園・小学校をはじめJR信越線・国道18号などの保全対象を土石流被害から守るため砂防えん堤を整備しているものです。

これまで矢代川では土石流が頻繁に発生しており、特に昭和60年2月の低気圧豪雨時には上流の大規模崩壊を原因とした土石流が発生し、水力発電用の調整池が被災しました。現在、この災害を契機に新潟県が平成8年度より補助砂防事業を実施しています。

また、この矢代川は火山性堆積物で形成された溪流のため脆弱で崩壊が著しく、平成18年11月にも上流域での崩壊が発生したことから、土石流の発生する可能性が高まっており早急な対策が必要です。

### 2. 平成18年度補正予算の内容

7号えん堤の鋼製スリット1基を製作・据付して降雪期前にえん堤を完成させ、早期に事業効果を発現させることにより下流保全対象の安全な生活基盤を確保します。



矢代川7号えん堤（下流側より望む）

# 一般国道7号 早稲田自転車歩行者道 新潟県岩船郡朝日村

## 1. 事業の概要

一般国道7号は、新潟市を起点とし、青森市に至る延長約520kmの日本海側を縦断する主要幹線道路です。

事業箇所は、住宅が密集する市街地であり、通学路に指定されており、沿道の病院、福祉施設を利用する高齢者の利用も多い区間です。また、片側に1.5mの歩道を有するものの、冬期においては1.5mを超える積雪があり、堆雪幅が確保されていないことから、通学児童が車道を通行し、危険な状況となっています。

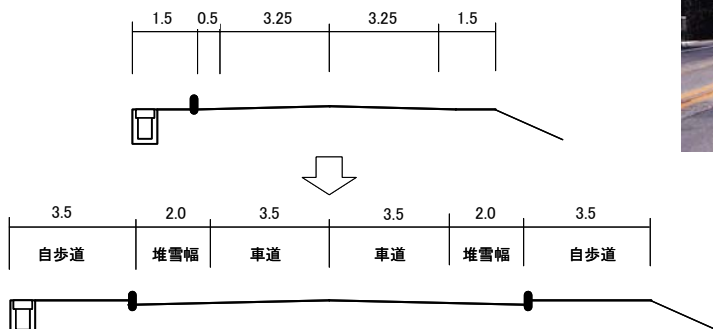
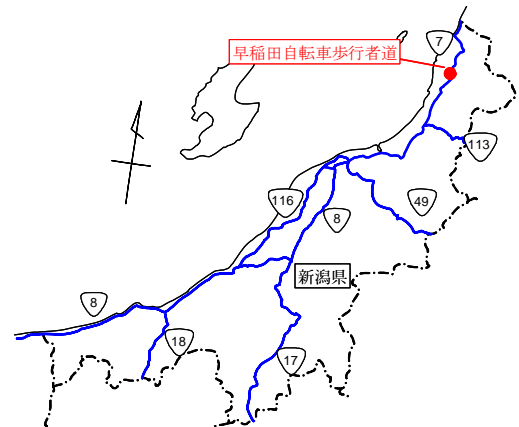
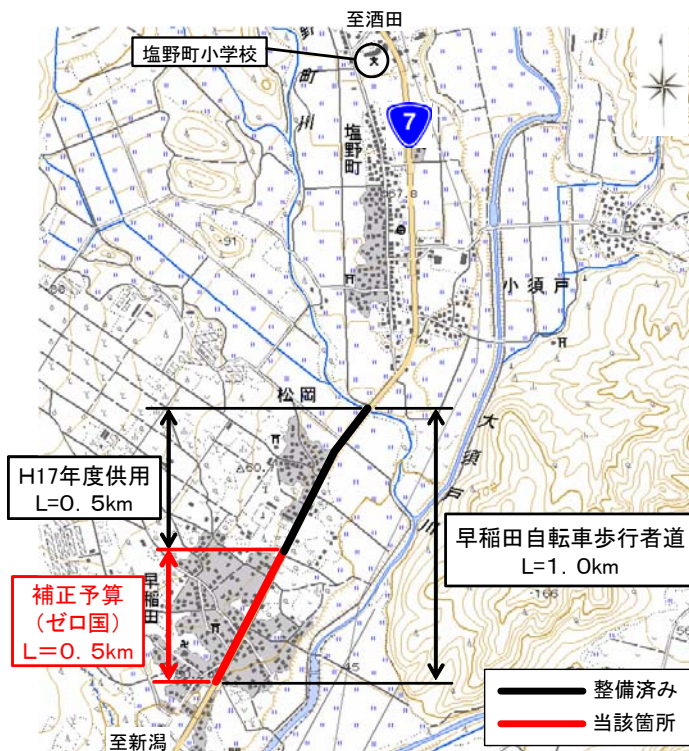
このため、自転車歩行者道の新設及び拡幅を行い、通学児童や高齢者が安心して通行できる歩行空間を確保する事業です。

## 2. 事業の経緯

平成10年度に事業着手し、平成17年度に延長L=0.5kmを供用しています。

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

自転車歩行者道の工事を推進し、平成19年度の降雪期前の完成を目指します。



おやしらず  
**一般国道 8 号親不知防災事業推進**  
 いといがわ  
**新潟県糸魚川市**

**1. 事業の概要**

親不知防災は、一般国道 8 号の糸魚川市における大雨による事前通行規制区間を解消し、災害時に孤立集落が発生する恐れを回避することを目的とした、延長 14.3km の道路です。

昭和 43 年度に事業着手し、これまでに洞門約 3.7km、スノーシェットの補強約 1.1km を完成しているほか、外波地区の延長 0.9km について防災対策を完了し、事前通行規制区間を解除しています。

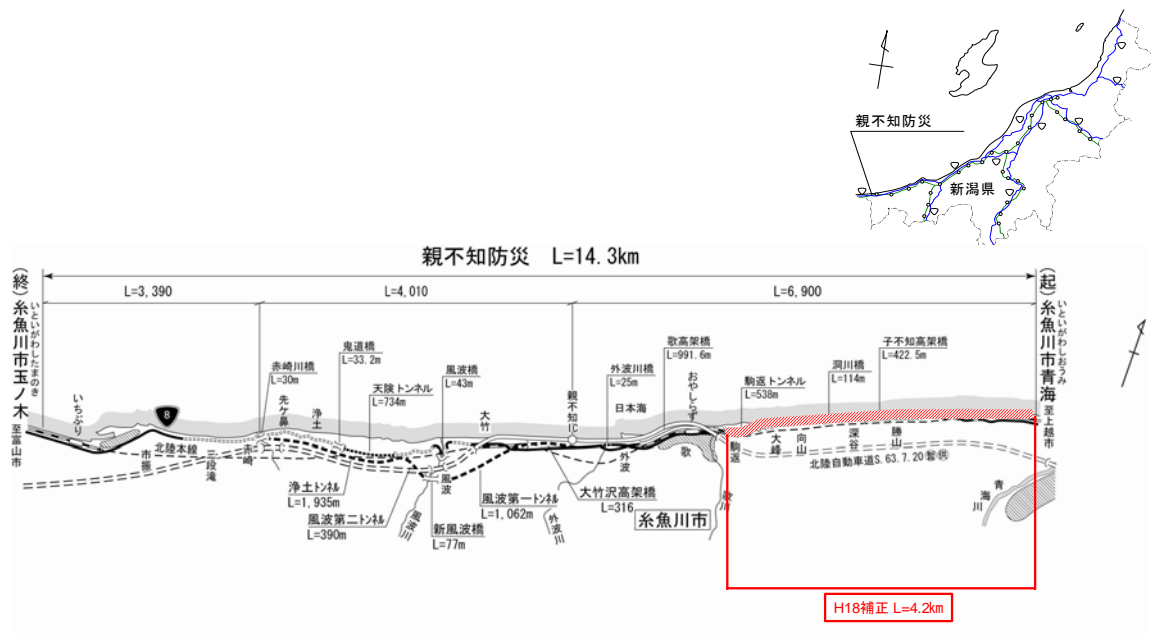
平成 18 年度は、子不知地区の防災対策工事を推進しています。

**2. 事業の経緯**

- 昭和 43 年度 事業着手
- 平成 6 年度 L = 2.7km 規制解除
- 平成 16 年度 L = 0.9km 規制解除

**3. 平成 18 年度補正予算の内容**

補正予算の投入により、子不知地区 (L = 4.2km) の法面の防災対策工事及び海岸擁壁の波浪による摩耗対策を推進し、安全で信頼性の高い道路ネットワークの早期整備を目指します。



凡		例
供	用	中
事	業	中
平	成	18 年度補正

# 一般国道 17 号 小出管内（堀之内地区）防災対策事業 新潟県魚沼市

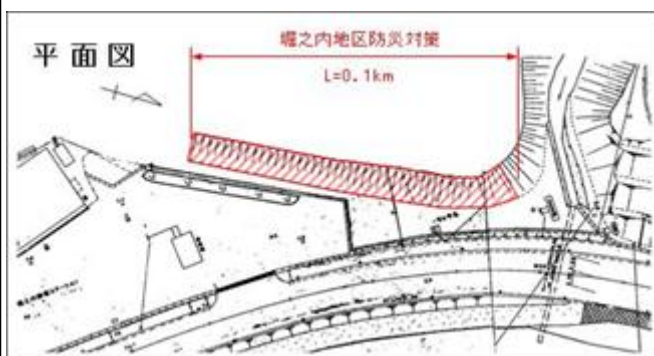
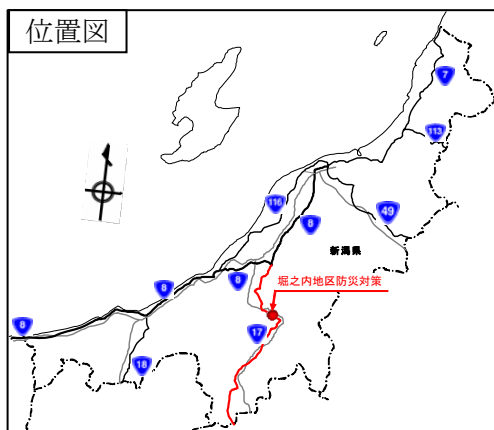
## 1. 事業の概要

一般国道 17 号は、東京都中央区を起点とし新潟県新潟市に至る総延長約 373km の主要幹線道路であり、関東地方と北陸地方を結ぶ重要な路線であるとともに、第一次緊急輸送道路にも指定されている。

当該路線の新潟県魚沼市堀之内地区は、平成 8 年度道路防災点検において防災カルテによる監視に取り組んできたところであるが、平成 18 年度の点検において斜面全体の変状及び既設ロックネットの破損が確認され、豪雨により被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急に法枠工による法面補強を行い信頼性の向上を図るものである。

## 2. 平成 18 年度補正予算の内容

平成 18 年度に補正予算を投入し早急な防災工事を実施し、安全で安心な道路整備を推進します。



# かめだ 一般国道49号亀田バイパス事業推進 新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

亀田バイパスは、一般国道49号の新潟市袋津から新潟バイパス紫竹山IC間の交通混雑を緩和し、地震等の災害時において円滑な緊急輸送を行うことを目的とした、延長約8.3kmの道路です。

昭和42年度に事業着手し、昭和49年度に全線暫定2車線供用しており、これまでに延長約5.2kmを完成4車線供用しています。

また、平成13年度には主要渋滞ポイントである鶴ノ子交差点を立体化供用しています。

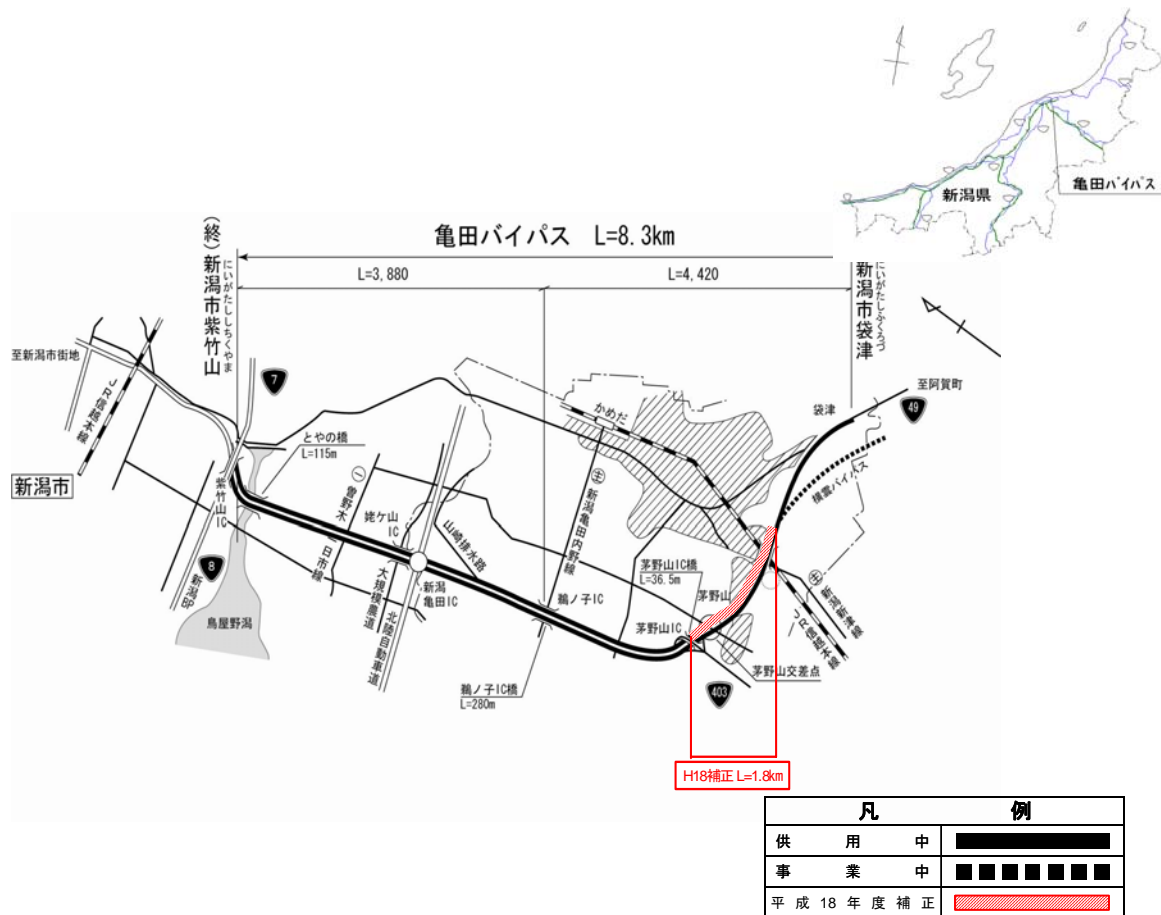
平成18年度は、城所高架橋及び城所から茅野山地区の改良工事を推進しています。

## 2. 事業の経緯

- 昭和42年度 事業着手
- 昭和49年度 全線暫定2車線供用
- 平成13年度 鶴ノ子交差点立体化

## 3. 平成18年度補正予算の内容

平成19年度の供用に向けて、城所から茅野山地区の舗装工事の推進が図られ、災害時の緊急輸送路としてバイパスの早期完成を目指します。





まつはまばしじょうりゅうきょう  
**一般国道113号松浜橋上流橋事業推進**  
 新潟県新潟市

1. 事業の概要

松浜橋上流橋は、一般国道113号の阿賀野川断面での交通容量の不足による慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした、延長約3.1kmの道路です。

平成13年度に直轄権限代行として事業着手し、平成15年度より用地買収に着手しています。

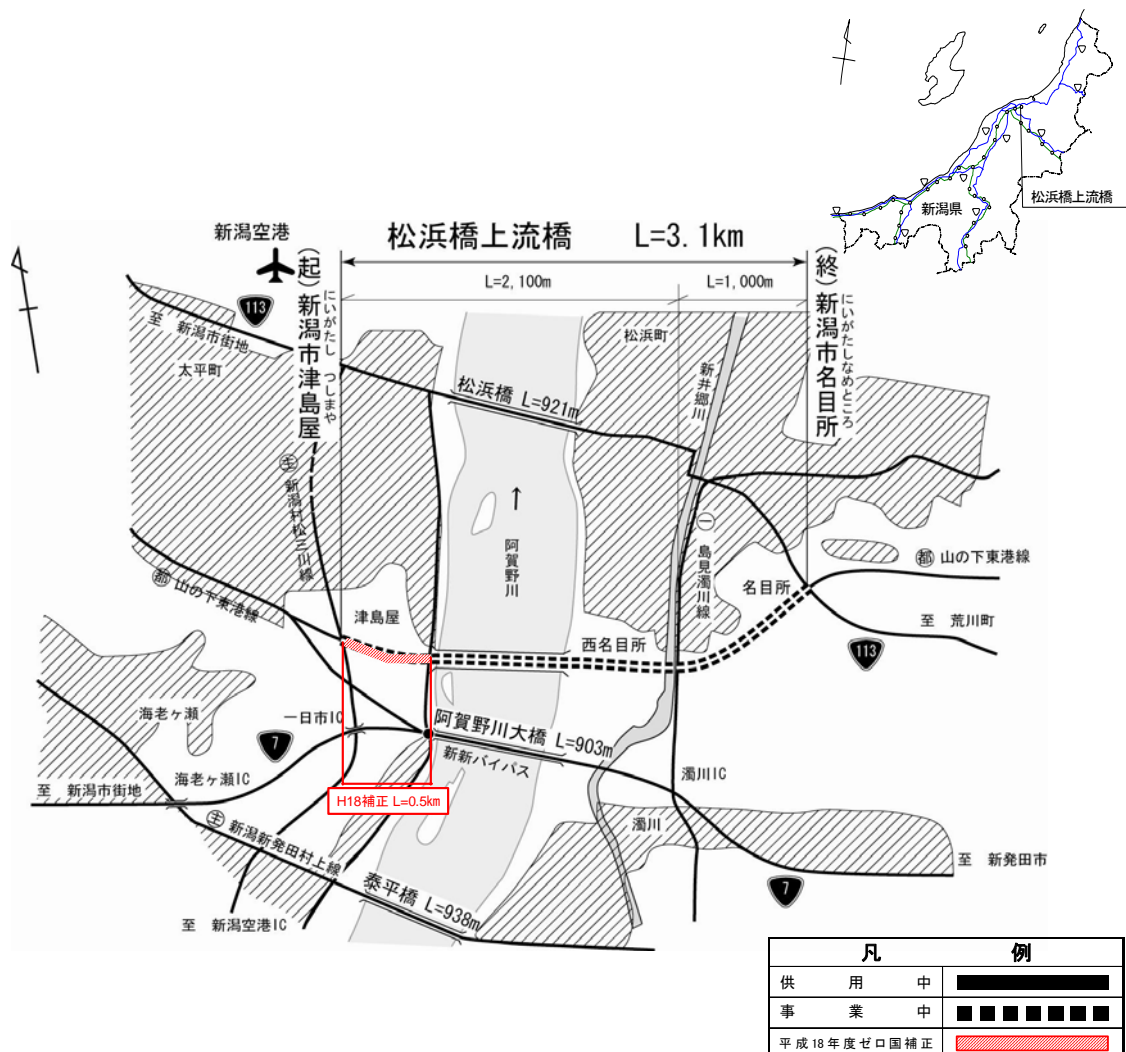
平成18年度は、津島屋地区の工事用道路及び松浜橋上流橋（仮称）の下部工事を推進しています。

2. 事業の経緯

○平成13年度 事業着手（直轄権限代行）

3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

平成21年9月に開催される新潟国体に向け、津島屋地区の改良工事の円滑な推進が図られ、早期の完成を行うことにより、並行する周辺道路の交通混雑が緩和されます。



# 一般国道253号 さんわやすづか 三和安塚道路の整備促進

じょうえつ さんわくひろた やすづかくまつぎ  
新潟県上越市三和区広田～安塚区松崎

## 1. 事業の概要

地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」は、上越地域と魚沼地域を連絡することにより、両地域および北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道を結びつける広域ネットワークを形成する延長約60kmの道路です。

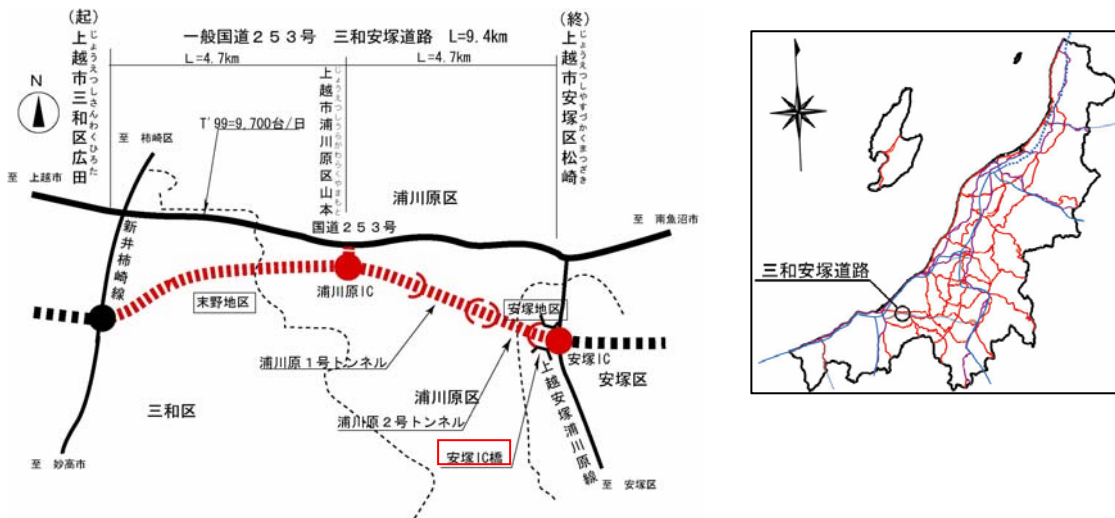
一般国道253号三和安塚道路は、上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成するとともに、物流の効率化、地域の活性化を目的とした上越市三和区広田から上越市安塚区松崎に至る延長9.4kmの4車線（暫定2車線）道路です。

## 2. 事業の経緯

平成9年度に事業着手し、これまでに浦川原地区及び安塚地区の用地買収及び改良・トンネル工事を進めてきました。

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

安塚IC橋下部工事を円滑に促進し、早期の供用を目指します。



安塚IC方面から浦川原2号トンネルを望む



# 一般国道353号 <sup>むぐらさわ</sup> 葎沢拡幅の整備促進

<sup>とおかまち</sup> <sup>くらした</sup> <sup>ひがしたじり</sup>  
新潟県十日町市倉下～同市東田尻

## 1. 事業の概要

一般国道353号は、群馬県桐生市を起点とし、新潟県柏崎市に至る延長約239kmの幹線道路です。

<sup>むぐらさわ</sup> 葎沢拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間及び落石・崩壊、雪崩危険箇所を解消し、安全性・信頼性の高い道路空間の確保を目的とした十日町市倉下から同市東田尻に至る延長3.4kmの2車線道路です。

なお、当該箇所については、「平成18年豪雪」においては、雪崩の恐れによる夜間に限定した通行止め等を実施しました。

## 2. 事業の経緯

昭和60年度に事業着手し、平成17年度までに十日町市倉下から猿倉までの1.4km及び十日町市葎沢地区から東田尻地区までの1.5kmの合計2.9kmを部分供用しています。

## 3. 平成18年度補正予算の内容

<sup>むぐらさわ</sup> 葎沢地区の雪崩対策を含む改良工事を促進し、早期供用を目指します。



葎沢地区未改良箇所（南魚沼市→十日町市）



# 主要地方道佐渡一周線 前浜南道路の部分供用

## 新潟県佐渡市

### 1. 事業の概要

主要地方道佐渡一周線は、佐渡市窪田を起点とし佐渡市椿尾に至る佐渡島内交通網の骨格道路と位置付けられる主要な幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されている重要な路線です。

このうち、岩首～蕨場区間はH8防災点検要対策箇所が存在し、災害による通行規制が発生した場合、大きな迂回が生じることから、危険箇所の早期解消を図ることを目的に事業に着手しているものです。

### 2. 事業の経緯

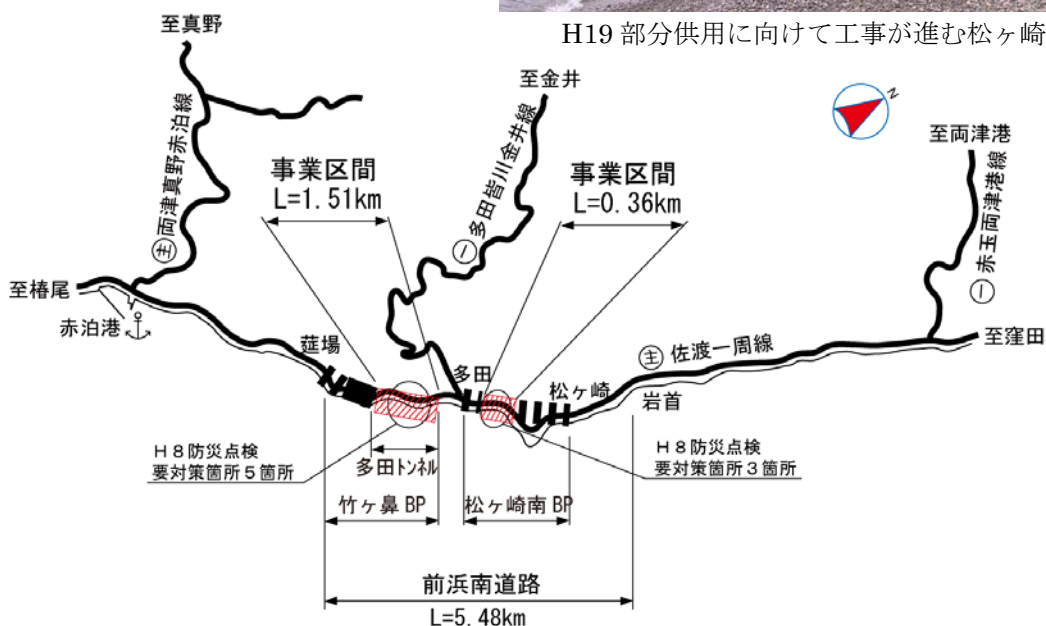
平成8年度より事業着手し、現在、多田トンネル及び松ヶ崎南バイパスの改良工事を推進しています。

### 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国債）の内容

多田トンネル及び松ヶ崎地区の改良工事を推進するとともに、平成19年度内に松ヶ崎南バイパス区間の部分供用（延長L=0.4km）を図る予定です。



H19 部分供用に向けて工事が進む松ヶ崎地区



# 防波堤（第二西）の整備推進

新潟港：新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

新潟西港内の<sup>せいおんど</sup>静穏度を確保し、長距離フェリーおよび佐渡航路（離島フェリー）の安全・定時性を確保するとともに、一般航行船舶の安全や、<sup>にやく</sup>荷役稼働率を向上させ、効率的な港湾物流を図るため防波堤（計画延長L=1,700m）の整備を実施しています。

## 2. 事業の経緯

昭和46年度より事業着手し、平成17年度までに防波堤の延伸約1,400mを整備しています。

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

港内静穏度を向上させるため、補正予算を投入し、防波堤整備を円滑に推進します。



新潟港（西港地区）の現況

# 新潟港海岸（西海岸地区）侵食対策事業の整備推進

## 新潟港海岸（新潟県新潟市）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

新潟港海岸（西海岸地区）は、著しい侵食傾向にある海岸であったことから侵食対策工事が行われてきました。しかし、日本海側特有の冬季風浪により施設前面の海底が侵食され崩壊の危険があったことから、恒久的な対策と併せて快適で潤いのある海岸環境の創出が可能となる「面的防護工法」により整備を行っています。以来、「国土保全」という観点から着々と整備が進んでいます。一方、市民からは過去に失われた白砂青松を蘇らせて、「憩いの場としての海岸」を創出することへの強い要望があることから、「ふるさと海岸整備事業」として快適な海岸空間の創出に向けて事業を進めています。

#### 2) 全体計画

国土交通省：離岸堤（潜堤）、突堤、護岸（養浜）：昭和61年度～平成28年度

### 2. 事業の経緯

昭和61年度に大規模な面的防護工法の先駆として直轄による「侵食対策事業」に着手。平成7年度には快適な海岸空間の創出に向けた「ふるさと海岸整備事業」に認定。

### 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

補正予算の投入により、離岸堤（潜堤）、突堤整備を円滑に推進します。



新潟港海岸（西海岸地区）の事業計画

# 多目的国際ターミナル(耐震強化岸壁)整備事業の促進

## 直江津港：新潟県上越市

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

直江津港では、コンテナ貨物やリサイクル関連貨物の取扱量の増加と船舶の大型化に対応するため、既存岸壁の改良(増深)を行います。

また、地震時に対応し海上輸送が可能となる「耐震強化岸壁」が計画されているものの未だ未着工の状況であり、新潟県南西部(上越地方)は大規模地震の切迫性が高い地域となっていること、平成16年10月に発生した新潟県中越地震により輸送路・防災拠点の早急な対策が迫られていることから、既存岸壁の増深に合わせ耐震強化岸壁の整備を行います。

#### 2) 全体計画

- 岸壁(-10m)(改良) 平成17年度～平成19年度
- 泊地(-10m) 平成19年度

### 2. 事業の経緯

平成17年度：土質調査・設計、現地着手

平成19年度：完成予定

### 3. 平成18年度補正予算(ゼロ国)の内容

補正予算を投入し、岸壁改良工事(撤去工、矢板工)の円滑な整備促進を図ります。



直江津港(東ふ頭地区)の現況

# 静脈物流拠点港（リサイクルポート）の整備促進

## 姫川港：新潟県糸魚川市

### 1. 事業の概要

姫川港は、平成 15 年 4 月に総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）の指定を受け、広域的なリサイクル施設の立地に対応した静脈物流ネットワークの拠点となる港湾の整備を進めています。周辺地域では豊富で良質な石灰石が産出されることから化学工業、セメント工業が発展しており、廃棄物をセメント焼成炉やバイオマス発電等に利用して、循環型社会構築の一翼を担っています。

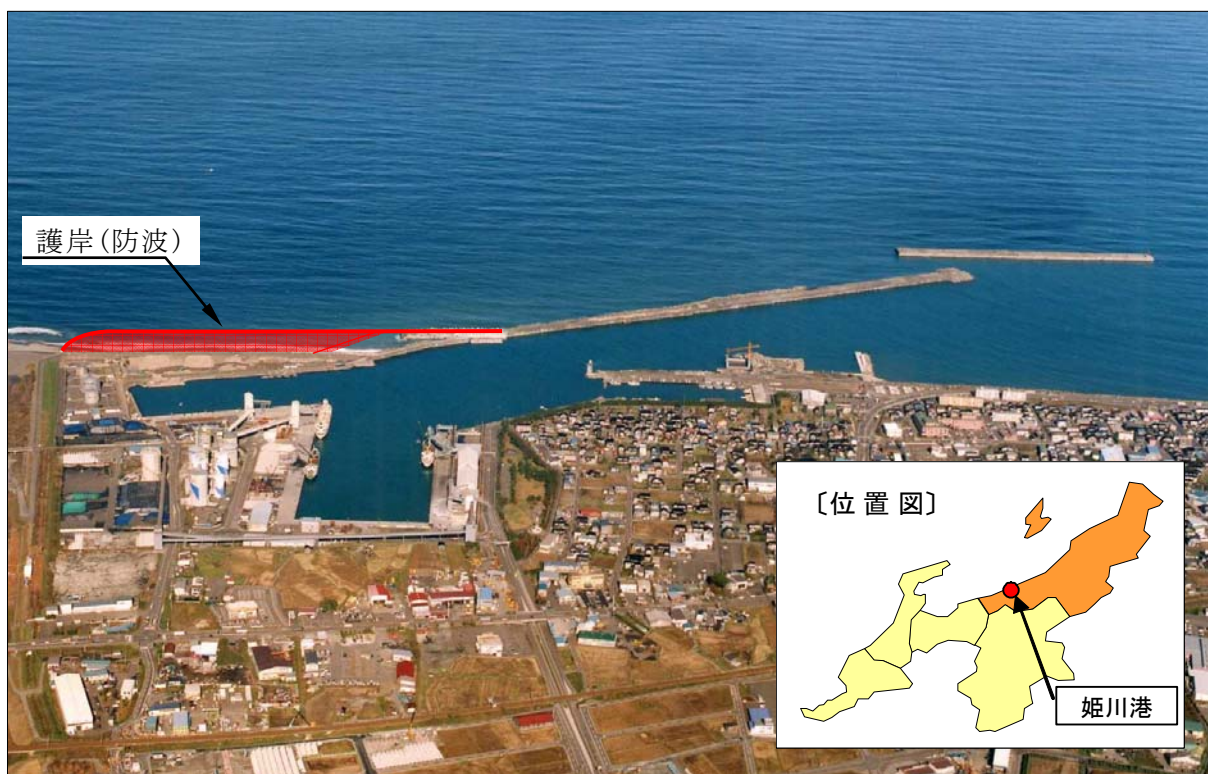
姫川港の取扱貨物量は年々増加しており、その増加する貨物量やセメント船の大型化に対応するため、岸壁（-10m）、航路、泊地の整備を図ります。

### 2. 事業の経緯

平成 10 年度に事業に着手し、平成 13 年度に岸壁（-10m）を完成供用しました。引き続き、需要の増加に対応した港の拡張整備を図ります。

### 3. 平成 18 年度補正予算（ゼロ国）の内容

補正予算を投入し、基礎工及び本体工を行い、護岸（防波）整備の円滑な促進を図ります。



姫川港の現況



# 両津港海岸 侵食対策事業の整備促進

## 両津港海岸（新潟県佐渡市）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

当地域の護岸は老朽化の度合いが著しく、天端高も足りないため、早急な対策が求められています。また、当海岸は、島内有数の海水浴場として島内外の人々に憩いの場を提供してきましたが、侵食により年々砂浜が後退しています。そこで、当事業により海岸が本来持つ価値を維持しつつ、安全でゆとりと潤いのある海岸とするために、離岸堤や突堤、護岸などの海岸保全施設の整備を進めていきます。

#### 2) 全体計画

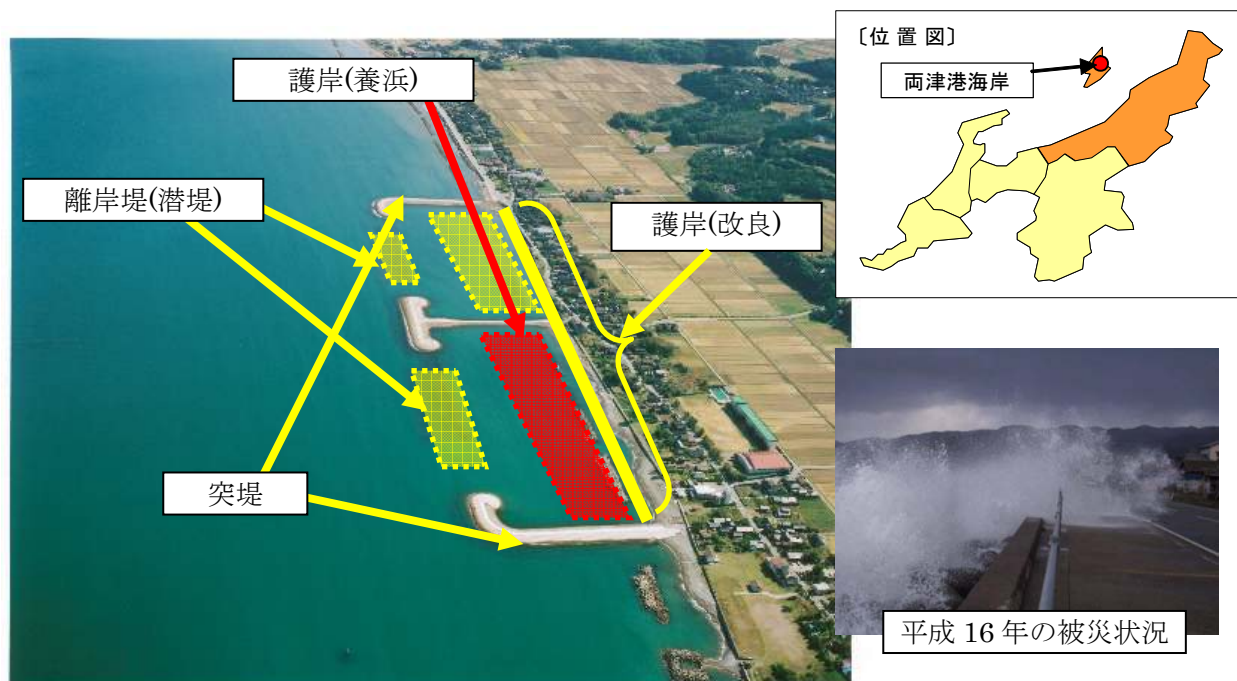
新潟県：離岸堤、突堤、護岸等：平成5年度～平成21年度（湊・河崎地区）

### 2. 事業の経緯

平成5年度に事業を着手し、これまでに突堤3基が完成し全体計画のうち約8割の進捗が図られています。しかしながら、高波浪時の越波被害が生じていることから背後住民からは早急な対策が求められているため、引き続き海岸保全施設の整備促進を図ります。

### 3. 平成18年度補正予算(ゼロ国)の内容

補正予算の投入により、護岸（養浜）整備の円滑な促進を図ります。



両津港海岸（湊・河崎地区）の事業計画

# 「野生ゾーン」の整備推進

えちごきゅうりょう  
 国営越後丘陵公園 新潟県長岡市

## 1. 事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で初めての国営公園です。

雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

【位置、面積】 新潟県長岡市、約400ha

【全体構成】 「健康ゾーン」(約120ha)、「野生ゾーン」(約180ha)、「文化ゾーン」(約100ha)の3つのゾーン構成で整備

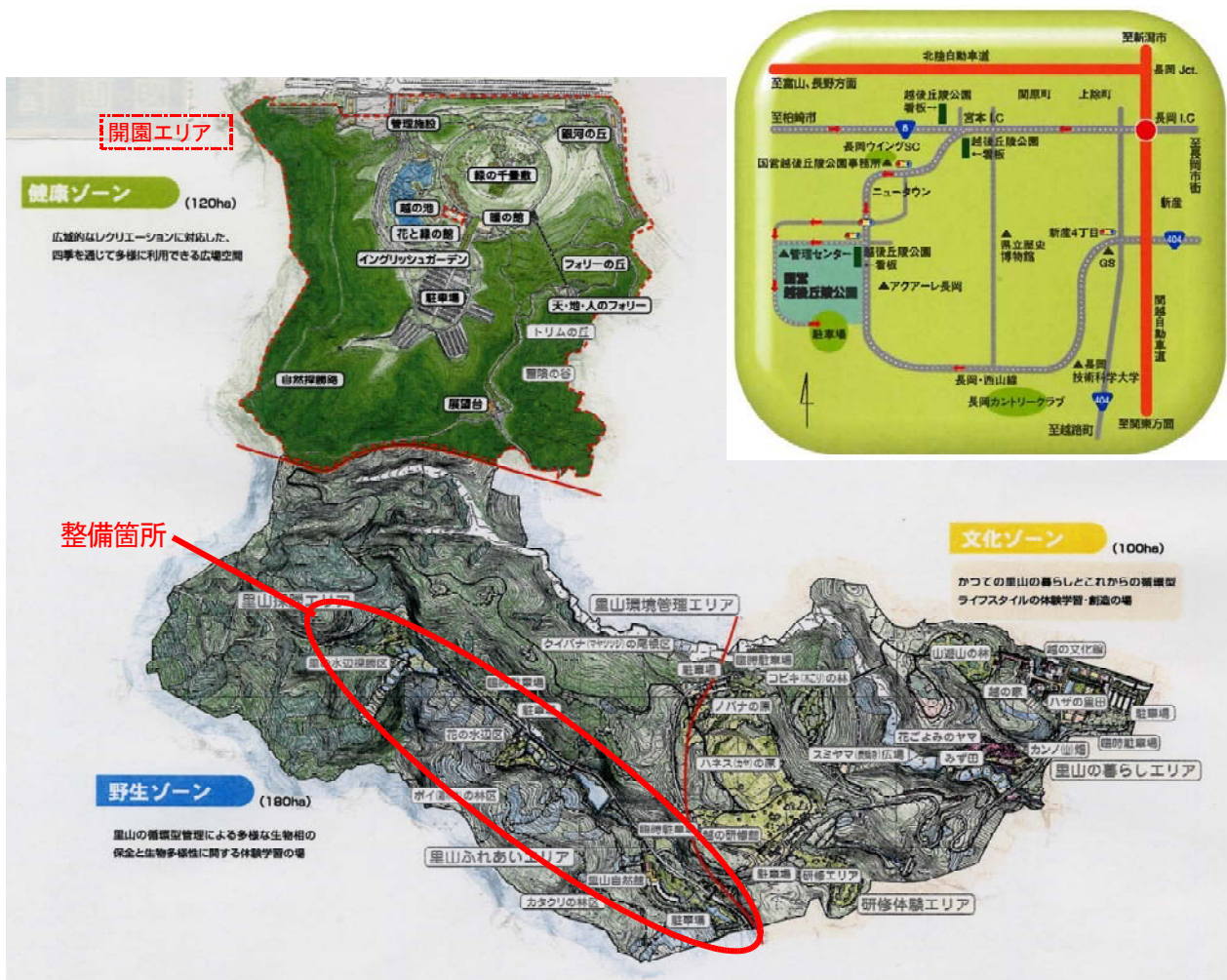
## 2. 事業の経緯

平成元年度に事業を着手し、平成10年7月の29ha開園以来、平成15年度までに「健康ゾーン」の119.6haを開園しています。入園者は、年々増加しており、平成18年12月末現在で、延べ来園者数が250万人が訪れています。

また、平成15年度から着手している「野生ゾーン」の早期供用開始を目指し、園路や樹林地整備を進めています。

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

補正予算の投入により、平成19年度秋の一部供用開始に向け、野生ゾーンの園路、法面対策、広場、駐車場等の整備を推進します。



いわふねこう  
岩船港線の整備促進

新潟県村上市

1. 概要

1) 目的

当路線は、村上市街地から特定地域振興重要港湾である岩船港を結ぶ主要な路線です。しかし、幅員が狭小で、線形も悪く、また歩道が未整備のため、大型車、歩行者等の通行に支障をきたしています。

岩船港線の整備により、緊急輸送道路としての車両の走行空間、安全な歩行空間を確保することが期待されます。

2) 計画内容

事業主体：新潟県

事業内容：街路（道路改築）

所在地：新潟県村上市<sup>いわふね</sup>大字岩船～村上市<sup>いわふねしもはまちょう</sup>岩船下浜町

延長：L=0.4km W=16m 車線数：2

2. 事業の経緯

事業着手年度：平成9年度

3. 平成18年度補正予算の内容

補正予算の投入により道路改良工事を促進し、平成19年度の完成を目指します。

